

その研修、「ゼミナール」でやりませんか？

人権問題の深い理解に役立つ理論や概念、啓発の基本的技術を学び、啓発への活かし方を考える「ゼミナール」スタイルの研修です。人権についてより深く理解したい方や、人権学習会等を企画・運営したり、講師を務めたりしている方（人権啓発担当課職員、人権教育推進員、隣保館職員、教員、企業の人権啓発担当者、その他）におすすめてです。

「当センター職員による情報提供」と「参加者全員の意見交換」の2部構成で進めます。

<p>学習テーマ (右から選択) ※裏面参照</p>	<p>① 改めて、人権って何だろう？ - 憲法と世界人権宣言を中心に - ② 人権問題はなぜ起こる？ - 社会的マジョリティ/マイノリティの関係から見てみよう - ③ フツオの人が無意識に行う日常的な差別とは？ - マイクロアグレッション - ④ 取扱注意のココロのしくみ - 差別にかり立てる社会心理とバイアスあれこれ - ⑤ 自他を大切にするコミュニケーション - アサーション(非攻撃的自己表現) - ⑥ ようこそ“ふらっとカフェ”へ！ - ゆるくて深い対話型人権学習の可能性 - [実践] ⑦ 自らを問う部落問題学習 - innovation を活用した学びのすすめ方 - ⑧ バイアス、ミナオス？ - 事業企画編 -</p>
参加人数	3人以上 20人以下（ただし、⑥は10人以下）
進め方	「情報提供」と「意見交換」の2部構成です。 演習、ワークショップ等を組み合わせて行うことがあります。
所要時間	1回 2～3時間程度 1団体・グループの利用は3回までとします。
会場	開催希望団体・グループのある市町村内
費用	無料。ただし、備品や機器、消耗品の一部について準備をお願いすることがあります。 ※当センター職員の謝金や交通費は不要です。
開催時期	令和5年7月～令和6年2月末 ※開催希望時期が他所と重なる場合、また当センターの他事業と重なる場合などは、日程を調整させていただくことがあります。
申し込み	[申込・問合先] 鳥取県人権文化センター(担当:尾崎・中尾) TEL 0857-21-1712 FAX 0857-21-1714 Eメール t-jinken@tottori-jinken.org
備考	◆研修記録(撮影動画、配付資料等)の無断流用はお断りします。

《次のなかから選択してください。》

学習テーマ	基本の内容 ※要望に応じて調整します
① 改めて、人権って何だろう？ －憲法と世界人権宣言を中心に－	人権教育・啓発の大前提、「人権」の基本を理解します。 ・人権とはなにか ・人権の具体的中身 ・人権の成立過程と今後 ・権利と義務の関係性 ・人権に関する国内外法の関係 他
② 人権問題はなぜ起こる？ －社会的マジョリティ／マイノリティの関係から見てみよう－	人権問題はなぜ起こるのか、その背景を「特権」理論を元に考えます。また、社会的マジョリティとマイノリティの間で起こる抑圧・排除の力学に気づき、問題解決に向かう方法を議論します。 ・特権とはなにか ・特権の具体例 ・特権が生まれる背景とマジョリティが特権を否定したい理由 ・特権をなくすために何ができるか（アライの重要性）
③ フツウの人が無意識に行う日常的な差別とは？ －マイクロアグレッション－	ごくフツウの個人が自覚なく日常的に行ってしまう差別、「マイクロアグレッション」。その具体例やパターンを理解し、啓発の場での取り上げ方について議論します。 ・マイクロアグレッション（微細な攻撃）とはなにか ・具体例とパターン ・マイクロアグレッションが起こす被害 ・啓発の場での取り上げ方（期待される効果と限界、留意点）
④ 取扱注意のココロのしくみ －差別にかり立てる社会心理とバイアスあれこれ－	さまざまな差別や人権侵害の背景にある私たちのココロの仕組みに焦点を当て、社会心理やバイアスについて事例とともに学びます。また、これらを差別に発展させないための方法を考えます。
⑤ 自他を大切にすることをコミュニケーション －アサーション(非攻撃的自己表現)－	人権尊重の基本姿勢に深く根ざすアサーションの要点を理解し、事例を使って演習します。 ・アサーションとはなにか ・成り立ちの歴史（非抑圧者のエンパワメント） ・自分のコミュニケーションの傾向を探る ・アサーティブな表現の演習
⑥ ようこそ“ふらっとカフェ”へ！ －ゆるくて深い対話型人権学習の可能性－	ひとつのテーマ*について、意見の違いを大切にしながらゆったりかつディープに対話します。分かっているつもりのことを改めて皆で考えてみるという対話の場そのものが、人権の理解と尊重につながります。また、希望があれば進行役も体験できます。 <p style="text-align: right;">* 相談のうえ決定します</p>
NEW ⑦ 自らを問う部落問題学習 －innovation を活用した学びのすすめ方－	社会的マジョリティが部落問題に対して抱く意識や態度に焦点を当て、問題点の理解や行動変容をうながす学習教材「イノベーション」。これを地域や学校等の部落問題学習でどのように活用するかについて具体的に話し合います。
NEW ⑧ バイアス、ミナオス？ －事業企画編－	人権啓発に携わる人が無意識のうちにもっている思い込みやバイアス。これが事業の啓発効果を下げているとしたら？事業企画に潜む“バイアスの落とし穴”をチェックして、企画力アップをめざします。